ＩＳＳＮ 0285－4767

北海道考古学会だより

第　131　号
２０２２．３．31

目　次

2022年度 北海道考古学会総会・研究大会の開催について ……1
2022年度総会について ……1
2022年度研究大会 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録記念
『北海道の縄文世界遺産と考古学』 ……1
各地域からの新着情報 ……2
事務連絡 ……3
総会出欠票返信のお願い ……3
運営委員の募集 ……3
令和３年度新入会員のお知らせ ……3
住所・所属変更について ……3
メールアドレス登録のお願い ……3
会費納入についてのお願い（重要） ……4

2022年度 北海道考古学会総会・研究大会の開催について

2022年度総会について

2022年度総会は、研究大会の開会前に同一会場にて開催します。総会は会員が会の運営に直接参加する重要な機会ですので、多くの会員の出席を期待します。なお、欠席される会員は、5月10日（火）（事務局必着）までに委任状を必ず提出されるようお願いします。

日　時：2022年５月14日（土）　10：00 ～ 10：45（開場：9：30）
会　場：北海道大学　学術交流会館　講堂

2022年度研究大会

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録記念

『北海道の縄文世界遺産と考古学』

日　時：2022年５月14日（土）　11：00 ～ 17：00
会　場：北海道大学　学術交流会館　講堂
交　通：札幌市北区北８条西５丁目
札幌駅より徒歩15分、北大正門入って左の建物

○ JR をご利用の場合
JR「札幌駅」下車　徒歩７分
○地下鉄をご利用の場合
「さっぽろ駅」下車　徒歩８分
「北12条駅」下車　徒歩７分
「駐車場はございません。公共交通機関のご利用をお願いいたします。」

趣　旨：

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、「１万年以上にわたり採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える」貴重な人類遺産として、2021（令和３）年７月27日に国際連合教育文化機関（ユネスコ）の世界文化遺産一覧表への記載が決まりました。これは、国の機関をはじめ、北海道・北東北の関係する自治体、それを担当する関係者の方々が、絶えず世界遺産への資産価値や評価などを継続された並々ならぬ熱意と努力の賜物であります。しかも、各地域では、住民によるボランティアや支援団体などの結成による取り組みや普及啓発・活用などの活動から展開した社会的な機運の高まりも大きく影響しています。

しかしながら、世界遺産登録が実現した背景には、永年にわたる考古学調査で得た遺跡、出土遺物の情報と記録、そして総括的な評価と研究の積み重ねによるものが基層となっています。これは、「北の縄文世界遺産」につなげた発掘担当者の成果によるものが大きく顕れています。

2022年度の研究大会では、世界遺産登録を記念し、世界遺産登録の各遺跡調査の考古学的成果、その遺産としての評価と価値を広く認識する機会とします。また、大会では、北海道・北東北における縄文文化の普遍性（共通性）と特質を深めるとともに、将来に向けた調査・研究の課題、その活用法などの発展を考えるきっかけとなれば幸いです。

日　程：

９：30　　開場
10：00～　総会、学会賞授与式

11：00～　研究大会開会あいさつ
11：05～12：35　基調講演
「世界からみた北の縄文世界遺産（仮）」
早稲田大学名誉教授　　菊池　徹夫氏
12：35～13：30　（休憩）
13：30～15：30　世界遺産構成資産・関連資産からの報告
13：30～　報告１　垣ノ島遺跡・大船遺跡
函館市教育委員会　　福田　裕二　氏
14：00～　報告２　北黄金貝塚
伊達市教育委員会　　永谷　幸人　氏
14：20～　（休憩）
14：30～　報告３　入江貝塚・高砂貝塚
洞爺湖町教育委員会　角田　隆志　氏
14：50～　報告４　キウス周堤墓群
千歳市教育委員会　　豊田　宏良　氏
15：10～　報告５　鷲ノ木遺跡
森町教育委員会　　高橋　毅　氏
15：30～　（休憩・会場設営）
15：40～　討論
16：50～　閉会挨拶

※新型コロナウイルス感染症の影響により、日程等が変更になる場合があります。
HP などで随時ご確認ください。

各地域からの新着情報

北海道考古学会だよりは、年２回会員向けに総会・研究大会の開催情報や学会運営に関する連絡事項などを発信しております。一昨年より始まった新型コロナウイルスの流行により、当学会の総会・研究大会だけでなく、各地の様々な企画イベントが中止もしくは規模を縮小しての開催を余儀なくされてきております。そこで、だよりの紙面を用いて「各地域からの新着情報」と題して、各地の注目される遺跡･遺物の発見、未報告の寄贈資料や寄贈者の紹介などを行っていただけるコーナーを新設いたします。詳細につきましては、以下を参考にしてください。

希望される方は各地域委員もしくは運営委員、学会ホームページに記載されております学会メールアドレスまでご連絡ご相談ください。

〇だより新コーナー「各地域からの新着情報」
内容：各地域委員からの発掘調査の新着情報
注目される遺跡・遺物
注目される博物館等の展示・イベント・講演会等
新指定の文化財
各地域の動向や活動
未報告の寄贈資料などの紹介・寄贈者の紹介　　など
字数：600～800字程度（※写真・図版の量で調整）
図版：1～4枚程度（ただしモノクロに限る）
頁数：1～2頁ほど、文量については調整できます。ご相談ください。
条件：写真や図などは掲載の許可を確認してください。
備考：希望者多数の場合は、次号以降での掲載となる場合がございます。早めの掲載を希望される場合は、その旨をお知らせください。

事　務　連　絡

総会出欠票返信のお願い

2022年度北海道考古学会総会の開催にあたり、出欠確認と運営委員推薦のための返信葉書を同封しております。各項目にご記入の上、必ずご返信くださいますようお願いいたします。
(5月10日(火)事務局必着)

運営委員の募集

現在、運営委員については、定員数16名以内に対して、9名で運営をおこなっております。学会の運営に携わってみたい方、運営にご協力いただける方のご連絡をお待ちしております。なお、運営委員会で運営委員を追加選出した場合は、HPやだよりなどで会員に周知することといたします。

令和3年度新入会員のお知らせ

冨田啓貴（札幌市）、土井重男（むかわ町）、茅原明日香（千歳市）　＊敬称略

住所・所属変更について

住所･所属に変更のある会員は、速やかに事務局にご連絡するようお願いします。ご連絡のない場合、刊行物の発送や連絡などが滞ることがありますのでご注意願います。また、2022年度の総会出欠票に新住所・所属を記載していただく場合は、変更のある旨を明記してください。

メールアドレス登録のお願い

北海道考古学会事務局では、情報提供のため、電子メールを使って会員の方々に各種のお知らせを送信することを検討しております。
新型コロナウイルス感染症による2020年度・2021年度研究大会延期の際には、学会ホームページでのご連絡になったため、会員の方々には、大変ご不便をおかけしました。2022年度総会の出席確認葉書には、メールアドレス記入欄を設けましたので、ご登録頂きますようお願いします。

会費納入についてのお願い（重要）

当会の運営には、会員の方々のご協力が不可欠です。会費の年内納入にご協力いただきますようお願いいたします。また、本年度を除く過去３年以上の会費が納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を事務局で確認後、送付いたしますのでご了承をお願いします。

なお、個人会員の会費未納入状況については、次回の会誌送付の際にお知らせしますのでご確認の上、お振込みください。

郵便局口座番号：02770-6-8358　　加入者名：北海道考古学会
年会費：（一般）5,000 円　（学生）3,500 円

【会費未納会員への対応】

会費の未納会員は、速やかに当学会事務局まで下記の E-mail でご連絡いただき、会費納入についてご相談ください。なお、場合によっては、事務局から直接ご連絡を差し上げることがありますのでご了承ください。

北海道考古学会だより　　第131号　　2022年３月31日　発行

発行所　北海道考古学会（ホームページ：http://haa.main.jp/cms/index.html）

事務局：〒069-8555　江別市文京台11番地札幌学院大学

人文学部人間科学科　臼杵研究室気付　北海道考古学会事務局

E-mail：hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp

印　刷　北海道図書企画　　(011)668-1131